

令和4年度第7回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和4年10月31日（月）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 池頭俊
委員 津川裕恵
委員 坂田由美子
委員 林田新也
- 5 欠席委員
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 岩男竜彦
学校教育課 草場博志 教育審議員
小林信一 指導主事
関 嘉晋 指導主事
吉岡敏夫 課長補佐
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 牧野淳一 課長
人権啓発教育課 森田健二 課長
企画課 大久保志穂 課長補佐

○中島栄治教育長

それでは、時間になりましたので、始めたいと思います。

ご起立をお願いします。

ただいまから令和4年度第7回教育委員会議（10月定例会）を始めさせていただきます。よろしくをお願いします。

ご着席ください。

開会に先立ちまして、昨日も熊本県では実数調査でコロナ感染者が400人を超えていました。ですから、コロナ感染について油断はできません。減ってはいるものの、高止まりで、それ以上は減らない状況が続いています。本当に気を付けながら生活しなければならない。本当の意味でのウィズコロナになってきたのかなと感じています。

また、経営訪問・学校訪問が続きますけども、教育委員の皆さんにはお忙しい中に対応いただき、感謝いたします。

それでは、会のほうを始めさせていただきます。

会議録の署名者の指名です。津川委員、坂田委員、よろしいでしょうか。

続きまして、前回会議録の承認です。ご承認いただいでよろしいでしょうか。

はい。では、ご承認いただいたということで、まず、私のほうから報告をさせていただきます。

教育長動静です。少し情勢も含めてお話をします。

9月28日 合志中の生徒が国体に参加するというので、ボルダリングのペアの競技ですが、来庁されました。ボルダリングの施設としては菊南にある施設で日ごろは練習しているということでした。子どもたちの可能性を広げる施設についても検討していかなければいけないなと感じたところでした。

9月29日 市町村教育長大会。白石県教育長のお話が主でした。中でも中学校の部活動の社会体育化については、全く先が見えないような状況になっており、今後しっかり国、県の動静を見ていかなければならないというふう感じたところでした。

同日16時から教職員組合代表の方が来庁され、各小学校、中学校の働き方改革、先生方の数が非常に少ない、足りないことを強く訴えられました。ただ、現実に不足していますので、力を合わせて増やしましょうとお話しました。

10月1日 2年ぶりにヴィーブル旗ということで、本市のバレー協会の招待バレーボール大会を、楓の森中学校で男子が、ヴィーブル体育館で女子が開催されました。

10月3日 庁議。

同日15時から市長へ学校給食施設及び運営検討委員会の進捗状況報告。本日、詳しく係から教育委員さんへお知らせいたします。

10月4日 市の校長会議。3ページをご覧ください。

主な内容は、人事評価について、能力評価で優秀な先生、特に優秀な先生については、給料の加算がありますので、しっかりとした面談をしてほしいという校長先生方にお話をしました。先生方の自己評価が低い先生もいらっしゃいますし、非常に高い先生もいらっしゃいますので、その調整をしっかりと図ってくださということ、校長先生もご存じない先生方の頑張りは、先生方に直接聞いてみたらどうか、学年の先生で一番頑張るとる先生など、面談の中で各先生方にお話されたらどうですかと提案をしておきました。

また、後期の教育実践の具現化と書いておりますが、来年に向けた人事異動のために、後期はバトンタッチをする意味で自分は何を仕上げなければならないのか、または、現在行っている仕事について誰に引き継ぐかも考え、OJTの中で準備をしてくださいとお話をしました。

続いて、期首面談について、これは10月の24日と26日に行いましたが、学校教育目標、教育委員会の具体的目標の分析説明、Schoolプロジェクトの進捗状況、再任用の希望状況の確認をするので準備をしてくださいとお願いしたところでした。

後期からの小中一貫教育の推進に向けて、できていることと、できていないことをはっきり区分して、なぜできていないのか、できていたとしても効果が上が

っているのかも鍵になりますので、しっかり吟味して、これをやるということで進めてくださいというお願いをしました。

同時に、子どもたちや保護者の理解、協力が進んでいるかの再点検。説明をせずに自分たちだけ頑張っているということではなく、このように頑張って、逆に言うと、子どもたちにはこんなことに頑張ってもらいたいとか、保護者の方にはこんなことをしてもらいたいとかいう要求も行ってくださいとお話をしました。

それから、物品購入委員会、学校の決まり見直し及び標準服検討委員会、修学旅行等検討委員会の実施状況の確認をとということで、学校だけで決定するのではなく、保護者の方も入っていただいて、または学校運営協議会あたりからも意見を聞きながら、しっかりと進めてほしいとお願いをしております。

同日13時30分 楓の森中学校で知事の出前ゼミ。蒲島知事がくまモンと一緒に6年生と中学生を対象に出前講座を行われました。内容は、幼少からの苦勞されたお話、そして、高校卒業した後、研修生としてアメリカに渡り、さらには、大学で勉強を始め、帰国後、筑波大学の講師、助教授、教授、そして東大の教授、さらには熊本県知事となられました。自分なりに「将来農業の牧場経営をしたい、もしくは政治に関わる仕事をしたい。」そういう夢を持っていた。漠然とした夢を持っていて、具体的な取り組みや実践が伴っていけば夢は叶うという話をしていたところでした。

10月5日 中央小学校の施設設備についての協議。

10月6日 西南小の経営訪問。

同日13時30分から、防衛白書の説明ということで、自衛隊から来庁。

10月7日 管内の先生がお辞めになりましたので、退職辞令交付式に行っております。

10月9日 北辰会。学校経営も考えながら教育を振興していこうという菊池管内の先生方の集まりで、ご挨拶をしました。

10月11日 管内教育長会議です。資料に沿って説明をします。

2ページを見てください。

成尾事務所長の挨拶があり、異動事務が始まりますので、とにかく事務所に情報をきちんと伝えてほしいということと、伝えるための整理。ばらばらにならないように準備をお願いしますというお話がありました。

定年引上げに係る今後の見通しということで、条例の一括改正が行われています。具体的な内容は、10月中に55歳以上の職員を対象に情報を出すそうです。定年年齢が令和5、6年度に61歳、令和7、8年度62歳、・・・令和13年以降65歳となっていきます。

役員定年の特例任用の運用というのは、校長職については検討をしていくと。教頭退職の場合にはしないそうです。

給与は、定年時点の給与の7割水準で制度が作られるとなっております。

次に、パワーハラスメント防止に向けて、職務に関して優越的な関係を背景と

して行われる嫌がらせは駄目だが、部下の指導、育成は上司の役割と。手段や様態の適切さが大事、相手がどう思うかも考慮しても、きちんとした指導は指導として適切な指導をし、育てるという意識でやってくださいとお話がありました。

その他、管理関係については資料を付けておりますので後ほどご覧ください。

同日、午後から義務教育課長及び教育局長のお二人で来庁されました。内容は、人材不足をどうするかということで、市町村教育委員会へのお願いは今年退職される先生方の75%が再任用していただけるようにご努力をお願いできないかと。それから、臨採の確保という点では、短時間の非常勤を幾つか職を設けると。または、1人の臨時職員の臨採枠を2人の短時間の非常勤で賄うと。そういった具体的配慮について県も取り組んでいきますので、そこも含めた上で人材の確保をお願いしますと。そういう候補になるような先生、退職される先生の中でそれがありましたら、校長を通してしっかり声をかけて、実数の把握をしたいと。協議しながら進めたいと思っているとの話がありました。

15時30分 轟社会教育委員長が来庁。社会教育委員九州大会のご報告を受けております。

12日 人事案件協議。

13日 スポーツフェスティバルについて生涯学習課と事務協議。

15日 市スポーツフェスティバル。ペタンク、それから、小学生はビーチバレー大会があり、例年に比べたら3分の1ぐらいの参加で、やはりコロナが落ち着かないとイベントへの参加はなかなか進まないような気がします。

17日 庁議。13時から里帰り講話ということで、コアミックス社長の堀江さんが合志中学校で講話をいただきました。コアミックスとは、北斗の拳や、シティハンターなど、最近では終末のワルキューレがヒット作品になっています。そういったマンガ出版会社の社長で、北斗の拳を描いた原哲夫さんを高校のときに見いだして、編集者として伸ばしていく。日本のマンガは、高校、大学ぐらいのときに良い編集者と巡り会い、二人三脚で伸ばしていった結果が、今の日本の高いマンガ業界の水準となった。ですから、本気でそういった世界を目指す人は高校ぐらいまでに一つの作品を持ち込む、そういった気持ちは持ってほしいし、もし挫折するなら挫折してもいいからしっかり取り組んでいくことが大事と。そのような努力をして良い人と出会えば、すごい化学反応が起こるような話をお聞きすることができました。

19日 市の教頭会。人権教育の推進も教頭先生が人権教育主任とどのように取り組んでいるか、先生方ができることをもう少し気づいて取り組んでほしいということでお願いしました。

同日午後、生涯学習課の協議で、文化芸術自主事業の提案についてのお話がありました。

20日 中央小の総合訪問。

21日 本年度の郡市の中学校駅伝大会が大津町でありました。男女優勝した

のは西南中です。そして、男子の2位には合志中も入っておりますので、この3チームは県大会がありますので、私も応援に行けると楽しみにしております。

23日 市の防災訓練で、楓の森小中学校でありました。この防災訓練では、あれだけ大掛かりにやって子どもたちも登校日にして防災意識を高めるとか、いざというときの対応を考えるということであると、やはり中学校区ごとに持ち回り、合志市の子どもたちに大掛かりな防災訓練を、小中学校9カ年の間に1回はどこかで体験できるというようなことを考えていかなければならないと思っております。

続いて、24日、26日と2日間午前中は校長先生方の面談をしております。

そして、25日は、第一小学校の経営訪問。

27日 国府高等学校創立80周年の記念式典がありまして、市長の代理として参加してまいりました。

28日 西南中校区の小中一貫教育の研究発表会。以前に比べてとても意欲的だと感じました。

30日 マンガミュージアムの10万人記念イベント。5年間で10万人を達成しております。

以上が私からの報告ですが、何かご質問等はありませんでしょうか。

○池頭俊教育委員

いいですか。

○中島栄治教育長

はい、どうぞ。

○池頭俊教育委員

市内校長会でお話があった部分で言えば、教育長が言われる部分は、優先順位と効果ということ強く言われているような気がします。そうすると、今後の学校訪問というのは、どんな効果があったのかということと、市が出しているランドデザインの中の優先順位をどのように付けたかということをお聞きしたい。

それから、教育長報告の中でいいでしょうか。

○中島栄治教育長

はい。

○池頭俊教育委員

教育長報告の中ですね、6ページの参考指標の1、2、3の中で、実は先月の教育委員会会議の中で質問要旨結果というのが抽出されて17項目出ていたのですが、その中の2番は、確かに合志市がわかるのですよ、それを見れば。1番と3番は、合志市がどうなったかということをお聞きしたい。それは今わかるのでしょうか。

○中島栄治教育長

それは後で答えさせてください。

○池頭俊教育委員

前回の16ページに載っているのは、それが無いのですよ。その2つが。だから、家で自ら計画を立てて勉強していますかというのは比較ができるのですよ。でも、その上の自分で考え、自分で取り組んでいるかとか、そのままにしているのかというのがないので、その付近をお聞きしたい。

○中島栄治教育長

はい。私の優先順位と効果があることに関して、1番から何番というふうに表示していますが、私は、1番だから1番目の優先順位とは捉えていません。あれはすべて項目番号であって優先順位ではありません。ただ、学校ごとに考えたときに、どれかを優先したが効果があるということであれば、学校で優先順位をつけてもいいと思っています。それは、校長先生方にはわかるように説明したいと。

○池頭俊教育委員

違います、僕が言っているのは、校長が考えた優先順位を今度教えていただきたい。

○中島栄治教育長

そうですね。

○池頭俊教育委員

私はこの中でここを一番優先順位として考えましたという、前々回、部長がおっしゃったように、全部標準の3しかついてない。

結局、学校に任せるべきものがあって、委員会が言ったことをすべてするとか、できるというわけではないので、ここを一生懸命やりましたのでできています、ここはできていませんと、はっきり言ってもいいと思うのです。だから、優先順位を教えていただきたい。

○中島栄治教育長

そうですね。それは私からも校長会で説明したいと思います。

○池頭俊教育委員

西南中の小中一貫教育の取り組みの中で、どうしても何か見えなかったのは、あれを3つに分けた部分の小学校4年までと、5年から中1までと、2年、3年というのは、どこを見ればわかりますか。取り組みの中で見えなかったもので、聞いても仕方ないのかもしれませんが、何かこんなとこだというものがあったら教えてください。

○中島栄治教育長

3期に分けた教育課程ということでの部分は少し弱かったと思いますけども、私もそれは確かに少し見えてなかったなというような気はしますけど。指導としても、そこが今回抜けていたかもしれません。事前の働きかけも。次年度、これから活かしていきたいと思っています。

私からの報告は以上でよろしいでしょうか。

では、11月の行事予定について、草場審議員お願いします。

○草場博志教育審議員

はい、資料の4ページをご覧ください。11月の行事予定をお伝えしたいと思います。

1日火曜日は、市ことのは作品の審査を行います。昨年度から650点作品ほど増加をしております。非常にこの事業が合志市の小中学校に根付いてきているなということを感じております。

2日水曜日は、市の経営訪問、南ヶ丘小です。

記載がありませんが、生涯学習課でマンガ祭り2022が開催されます。

7日月曜日は、合志中の経営訪問です。

8日火曜日、教育長・校長の合同会議が午後に行われます。

10日木曜日、市の校長会議が午後予定されております。

その日の夜7時から市の学校給食施設及び運営検討委員会が開催の予定です。

11日金曜日、教育事務所を要請した総合訪問を合志南小学校で行う予定です。

12、13の土曜、日曜日は、部落解放熊本県研究集会在玉名市でオンデマンドの形で2日間行われます。

同日、市の文化祭も開催予定となっております。

14日月曜日が市の教育支援委員会が予定されています。

15日火曜日は、ここに記載ございませんが、県の学校図書館研究大会が午後合志市内の施設、学校施設等を利用して開催予定ということになっています。

16日水曜日は、市の人権教公開授業研が午後行われます。第一小学校、南ヶ丘小学校、合志楓の森中学校が担当校として授業を行うことになっています。

18日金曜日は、ことのは作品審査の2回目が行われます。

南ヶ丘小学校では、県の小学校体育研究発表大会が開催されます。

同日、市の市議会の全員協議会となっております。

21日月曜日は、合志楓の森中学校の総合訪問となります。

24日、市議会の定例会本会議が開会となります。

同日、第2回の管内四者人権・同和教育研修会が行われます。

25日金曜日は「きくちの風」推進事業といたしまして、合志楓の森中学校の1年生の英語を公開授業で、別府先生の授業となります。昨年度、合志中学校で行う予定になっておりましたけど、コロナの関係で1年延期されての発表ということになります。

30日、西合志南中学校で前回、総合訪問が台風で延期となっていた分について、代替措置での訪問を行う予定ということになっております。

11月の定例会を11月22日火曜日で提案いたします。

また、12月の定例会議のことで予備提案をさせていただきます。12月の定例会議は、予定では12月26日月曜日、1時半からということになっておりますけども、ここの予定を26日の午前中、またはその前の週の木曜日、金曜日、22日、23日あたりに移動できないかということによって予備提案させていただきますと思います。

ただ、この22日から26日にかけては、教育長・校長の第1回ヒアリングがどこかに入りますので、ヒアリングを避けた形での教育委員会議が行えたらありがたいかというふうに思っております。

私からは以上です。

○中島栄治教育長

はい、何かご質問はありませんか。

22日、議会の関係でこの日を提案しておりますが、教育委員会議ということでよろしいでしょうか。

○池頭俊教育委員

13時半からですか。

○中島栄治教育長

13時30分からお願いします。

はい、では一旦休憩に入ります。

午後2時25分 休憩

午後2時35分 再開

○中島栄治教育長

それでは、引き続き、会のほうを再開したいと思います。

生徒指導等について、担当からお願いします。

○小林信一指導主事

はい、失礼します。

資料の5ページをご覧ください。9月末の定例報告をまとめたものになります。9月末現在で長期欠席の児童生徒が164名、不登校の児童生徒数が111名です。8月末に比べると29名増加ということで、小学校も中学校も増加しております。

それから、不登校傾向の児童生徒数が9月末で82、いじめの認知件数は、小学校で3件報告が上がっていますので、累計7件となっております。

1カ月以上会えていない児童生徒ということで、今回、西合志東小学校の5年生の女子、それから、合志中学校の1年生の女子、合志中学校の2年生の女子、それから、楓の森中学校の2年生の男子ということで、会う努力はされていますが、なかなか会えないということで、学校としては継続的に関わりを持ってもらっています。なお、西合志中学校の男子は、月1回、今オンラインで担任と会うという約束を夏休み中に行い、9月もきちんとできているということでした。

以上になります。

○中島栄治教育長

はい、少し前のニュースで、全国的にもこのコロナ禍の影響によって不登校児童生徒は非常に増えているということで、全国平均で20人に1人ぐらいだったのでしょうか。そうなると、本市でもその割合から言うなら300人、合計ですね、の生徒が不登校ということで、まあそこまではいかないもののそれに近い数では

本市も不登校の状況にあると。全国平均と変わらないというところではあると思います。

○池頭俊教育委員

いいですか。

○中島栄治教育長

はい、どうぞ。

○池頭俊教育委員

西中1年生の子は、いつからオンラインで会っていますか。

○小林信一指導主事

はい、8月中の夏休み中に確認をして、9月は会えているということでした。

○池頭俊教育委員

9月に会っているわけですね。

○小林信一指導主事

はい、9月に会っています。10月の分は報告がまだです。

○池頭俊教育委員

ということで、ここから消えたということですね。

○小林信一指導主事

そうです。ここから外れています。

○池頭俊教育委員

2点目に、そのいじめの部分が9月になって、9月に新規で出てくるというのを何か把握していますか。

○小林信一指導主事

はい、把握はしていますが、すみません、ここに資料持ってきていませんので、9月に発生したいじめです、ということで報告が上がっています。それ以前のはありません。

○中島栄治教育長

以前のがわかったということではなくて、9月に発生したということで報告があっているということですね。

○小林信一指導主事

はい、そうです。

○池頭俊教育委員

小学校？中学校？

○小林信一指導主事

小学校です。3件とも。

○池頭俊教育委員

3件とも小学校。同じ小学校。

○小林信一指導主事

いえ、1校違います。2つは同じ小学校です。

その事案について、そこでは当人同士の謝罪等は終わっていますが、経過観察ということで引き続き観察して指導していくということで継続しています。

○池頭俊教育委員

学校としてきちんと対応をして、ある程度の解決までできたと見ていいわけですね。

○小林信一指導主事

はい、ここに上がっている3件についてはそうです。

○中島栄治教育長

基準としては、その後ずっと欠席になっているとかですね、そういった重要案件というふうに考えたことについては、事例についてもお知らせをしたいというふうに思います。今回は、本人からの訴えもあり、学校としてもいじめとして認知したケースということですから、いずれもその重大なというような要件の3件ではありません。

それでは、次に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

では、合志市電子ライブラリーについてということで、担当から説明をお願いします。

○大久保志穂企画課長補佐

こんにちは。お世話になっております。企画課の大久保と申します。

前の電子黒板にて説明をいたしますので、すみません、振り返っていただければと思います。

まず、お手元の資料に合志市電子ライブラリーは何だということを書いてありますが、GIGAスクール構想によって、児童・生徒に1人1台のタブレット端末が配付されて、臨時コロナ交付金を活用して環境整備を行っております。

オンラインによる学習の機会が増え、熊本県内の自治体でも端末をどのように活用するかということに今焦点が当てられていると思いますが、合志市電子ライブラリーは、新聞記事や写真を生かしたデジタルコンテンツを作成し、また配信する児童・生徒向けの教育プラットフォームです。主に家庭教育・家庭学習で活用していただけるように導入するところです。そのコンテンツの中身ですが、電子ライブラリーに収蔵するコンテンツは、熊日新聞の記事を基に作られています。新聞に掲載された優良な情報なので信頼性もあり、また、インターネットに接続できれば生徒・児童がいつでも見ることができ、また、授業のときにも電子黒板を使ってネットさえつなげば先生たちにもアカウントを送りますので、いつでもそれを活用することができます。

また、市のオリジナルコンテンツというものも作成する予定で、児童・生徒が合志市に、郷土に愛着を持つような取り組みもできるのかなと考えております。

また、新聞社と契約しているため、新聞社が得意とする分野、例えば、新聞づくりとか、そういったところでも先生たちの一助になればと考えております。

基本パックは、小中学新聞のくまTOMOの記事を中心としたコーナーや、ま

たは水俣病、ハンセン病、また熊本地震とか平和学習に活用できるような連載をまとめております。

家庭教育の推進の一助にもというふうに、次のページに書かせていただいておりますが、皆様ご存じのとおり、2022年度の全国学力テストの分析から、新聞を読む回数が多い子どもほど平均正答率が高くなるという相関関係が全教科で示されましたので、今後、できれば熊日の無料の電子版と連携してリンクできて、誰でも見れるような仕掛けづくりができたらいいなと考えています。

各種計画の整合性、もちろん総合計画にも謳っていますとおり、合志市令和2年3月に提案している合志市小中一貫教育推進に関わる提言というところで、「志合わせて夢実現プロジェクト」、私も子どもが小中学生におり、1人は高校生になりましたが、「志合わせて夢実現プロジェクト」の中身の提言1、子どもたちのMyプロジェクトの、自ら学びましょう、その下支えになるのかなというふうにこのコンテンツは考えております。また、熊本県教育振興基本計画「夢への架け橋」教育プランと言われる推進にも貢献できるのかなと思っております。

スケジュールは、現在、契約を結びまして、アカウント登録方法について学校教育課と協議をしているところです。12月には配信予定ですが、12月上旬には合志市教育委員会、また学校と熊日で運用開始式も行いたいと思っています。市長から子どもたちに、このアカウントをプレゼントしますというふうなセレモニー、そういった運用開始式、式典を行いまして、少しメディアにも取り上げていただけるようにこちらからも発信していきたいなと思っております。

実際のオリジナルコンテンツはどういったコンテンツを配信するかまだ決定しておりませんが、生涯学習課が先日作成した合志市カルタのYouTube版などを配信したり、または、企画課で行っているまちづくりや、市の工業団地がありますので、そういったところの企業と連携して、何か子どもたちの職業に対する興味、関心が沸くようなコンテンツも考えております。12月から配信される基本パックはこちらです。こちらで地域学習が見られたり、例えば、ミカンの収穫量であれば、数字で見るくまTOMOとって、ミカンの収穫量が全国で第4位は熊本ですよといったことが載っていたりとか、情報モラル教育ですね、情報リテラシーを検索できたり、あとはプログラミング教育、今もタブレットにはスクラッチが入っていますが、そういったことが遊び感覚でできたりとか、プログラミング教育ができたりとか、あとはキャリア教育、どんな職業があるかとかいうのがあるのか、あと地域学習ですね、これは自然とか生物とかいうものです。

これは熊本市の学習ですね。こちらは水俣病、5年生になったら水俣病を学ぶ子どもたちにとって、これを事前学習で学ぶこともできるし、家でこちらを読んでいってということもできると思います。

基本は家庭学習で学んでいただくというコンテンツなんですけど、授業の一環でも使えるように基本コンテンツはそのような成り立ちになっておりますので、子どもたちが家庭を中心に学校でも学びを深めるための一教材と思って使ってい

ただければ。

また、新聞の作り方も詳しく書いてありまして、この新聞の作り方に関しては、熊日さんが出張で出前講座みたいな形で行くこともこの中身に入っておりますので、学校の先生たちから要望があったら、全部の学校に行くことはできないんですけど、例えば、今年は2校とか決めていくこともできますので、こういったものに使っていただきたいなというふうに市からお願いするところです。

以上で説明は終わります。

○中島栄治教育長

はい、何かご質問はありませんか。よろしいですか。

では、これは12月からの試験運用を楽しみにして教育委員さん方には見ていただけるように準備はしたいと思っておりますので。

○大久保企画課長補佐

はい、よろしくお願いいいたします。

帰りに触っていただければと思いますので、しばらくこのままにしておきますので、皆さん、触って帰られてください。

ありがとうございました。

○中島栄治教育長

はい、お世話になりました。

ということで、8ページまで終わりました。

次に、今の学校給食の検討委員会の中間報告ということで、係のほうから説明したいということですので、お願いいいたします。

○吉岡敏夫給食班長

改めまして、こんにちは。資料はA3版の4枚になります。

現在、将来の合志市の学校給食施設とその運営についてということで、その検討組織を立ち上げまして、検討している最中でございます。

進捗報告含めて、教育委員の皆様へ報告させていただきます。

1枚目がこの検討委員会の目的、何を検討するのかということと、組織の構成委員内訳を書かせていただいております。

濃い色でつけておりますが、まずは自校方式、給食のですね。6施設、西合志地域の施設更新というのが一つ大きな話ですので、それを取り巻く1の検討内容ということで、右上のほうに書いておりますけども、①から④の状況のトピックで検討していますということで、2ページ目以降に続いていきます。

右下のほうの検討スケジュールが、今まで検討してきた内容を書いております。先週、金曜日に2回目の試食会ということで、自校方式とセンター方式と、それぞれの試食を委員に行っていただきました。両方参加していただいた方の実感としては、変わらずおいしいということで、温度というか、中心温度計を持って行って計ってきまして、それぞれ遜色ない、熱い物は熱いままで、冷たい物は冷たくいただいたところでした。

スケジュールとしては、今年度終わりまでに検討結果を市長に報告しまして、その後、報告を受けて市長が決定し、市議会に報告をしていくようなスケジュールで進んでいくところでございます。

人口増の続くほかの市町村と異なる事情というトピックから始まりまして、②では、昭和50年代に整備した、現在の自校方式の施設の課題。3点目に、安心・安全な学校給食を提供するための衛生管理の重要性というところですね。4番目、(4)3枚目ですけども、実際にこの自校方式の施設更新を考える場合に具体的なものを考えていったら、アイウという課題があるというところで説明をさせていただいております。

青い枠の中ではですね、施設更新にかかる建替え費用、整備費用ということで、この部分も、自校方式での更新、センター方式、中学校区単位での2センターの場合の更新、6小中学校を網羅する1センターの場合の更新ということで、青枠の中で説明させていただいております。

下にまとめとして書いておりますのが、これからも安心・安全、安定的においしい学校給食を提供し続けるために、検討委員会、現時点ではセンター方式、1か2かというのはまだ継続的に審議はしていくけども、それで検討をさらに進めていきたいということでまとめさせていただいております。

4ページ目が、現在の合志給食センター、新しく更新する西合志の給食施設、両方に関係する部分ですが、施設の運営についてということで書いております。施設自体が合志の給食センター、楓の森の小中学校の2つ目の施設、新しい西合志地域の1もしくは2のセンターということで、その大きく分けて3つに集約するのであれば、先行して、現合志給食センターの一部業務委託を2年後を目途に業務委託できないかというところで説明をしております。

現在、常勤職員の方、市の会計年度任用職員の方々が引き続き働ける公設部門としての現場ということで、楓の森の現在の一部業務委託を直営にしまして、引き続き働いていただける現場も確保したいということで説明をしております。

まだ途中の検討委員会の流れでして、まずは全保護者に向けてオープンに情報発信をしてほしいということで、安心・安全メールを使いまして、全保護者宛に情報発信をしていきたいと検討委員会の中で決めております。

この資料に関して、反応があるのか、どういった反応があるのかというのは、次回が11月10日を予定しておりますので、皆さんの反応を検討委員会の中で共有して、さらなる検討を進めていきたいなというふうに思っているところです。

4枚目の一番下が、よくある質問、主なものということで、Q1からQ6まで代表をピックアップしてQ&Aを載せております。

資料の概要の説明は以上になります。

○中島栄治教育長

はい、では、この資料を公開して、意見は求めますか？

○吉岡敏夫給食班長

本文に意見を求めますと書きたいと思います。

○中島栄治教育長

はい。何かこの資料でご質問はないでしょうか。

では、ご起立をお願いします。

以上をもちまして令和4年度第7回教育委員会議（10月定例会）のほうを終了いたします。お疲れさまでした。

午後3時02分 閉会